

留学だより Vol. 2

皆さんお久しぶりです☆1月からオーストラリアのケアンズに留学している杉本です！日本では新学期が始まりましたね。クラス替えもあり、ワクワクの学校生活をスタートしている人が多いんじゃないでしょうか。

今回は、前回予告した通り、オーストラリアでの学校生活を紹介していきます！

～学校生活～

私が通っているのは、Redlynch State College という学校です。

Year1～Year12 の6歳から17歳の生徒が通っています。



私は Year10 です。(年齢的には Year11 又は 12 です。)

キャンパスが二つあり、Year1～6 と Year7～12 で分けられています。さらに、Year10～12 は Senior に分類されています。

1月から新年度が始まるため、日本で同じ学年でも、こちらでは別の学年になる可能性があるのです。

↑校章です。

まずは、制服を紹介していきます！

まず、この学校には正装の制服と普段着用するカジュアルな制服があります。学年によって少しずつデザインが変更されています。

さらに、小石川という青団や赤団のような「ハウス」が4つ存在し、それぞれのカラーの制服もあります。

私が着ている制服はこんな感じです！

(ちなみに、正装を着る機会がほとんどないので買っていません。)



↑正装



↑普段用の制服

ハウスポロシャツはこれ！



ハウスごとにシンボルとなる動物がいて、それが胸元に描かれています。

(赤はイノシシ、黄はハヤブサ、緑はクロコダイル、青はイタチザメ)

クロスカントリーなどのハウス対抗のスポーツ大会に出場するときは、このシャツを着ます。(普段着用も可)

このハウスがどのようにして決められているのかわかりませんが、兄弟姉妹は同じハウスに入るようになっていました。私もホストブラザーやホストシスターと同じ赤の Rapids に入りました。

さて、制服はこれだけではありません。実はまだまだ学校指定のものがあります。

まずは、バケットハット。ケアンズは1年中気温が高めなので、外で体育の授業を受けるときには必ず帽子をかぶらなければいけません。その時にかぶるのが、学校指定のバケットハットです。ハウスカラーのものをかぶります。

次に、ジャンパーとトレーナーです。いくら年中気温が高めとはいえ、雨が降っていたり、教室の冷房が効きすぎていたり、肌寒いときはあります。そんな時には、学校指定のジャンパーやトレーナーを着用します。

デザインが気になる人はぜひ、調べてみてください！

ここまで紹介してきたように、学校指定のものがたくさんあります。他にも、靴は黒限定だったり、靴下は白か黒の無地のもの限定だったり、小石川の後期生より厳しめな感じがすると思いますが、実際はどうなのかというと、、、全然そんなことはありません！

基本の制服はみんなちゃんと着ていますが、ジャンパーやトレーナーは、私服を着ている人がたくさんいます。靴だって紫やオレンジなど奇抜なものをよく見かけます。先生も注意するどころか、That's cool!やI love it!と褒めていることの方が多いです。

ルールはあれど、基本は大目に見てもらえます。結果として、小石川よりも自由な感じになっています。

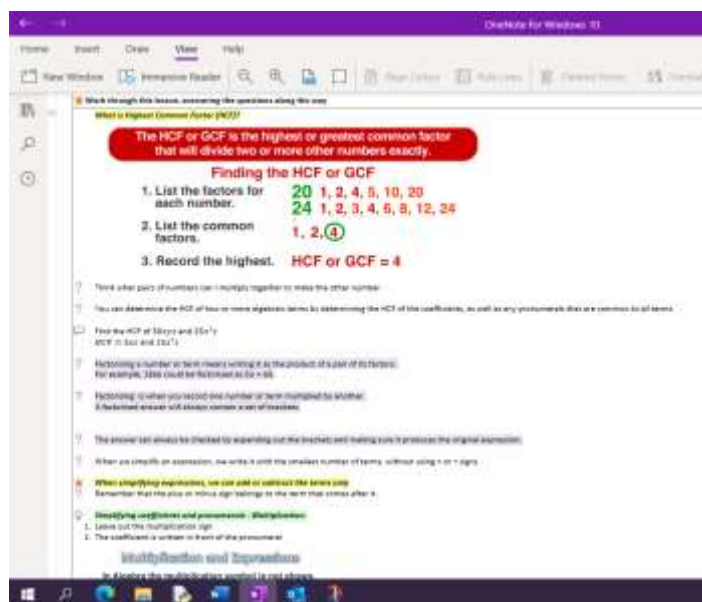
次に、授業についてです。



なんと、教科書はありません！
先生が授業ごとにパワーポイントやOne Noteを用意してくれています。そのため、必要なのは、パソコンとノート、筆箱だけです。リュックがすごく軽いです。この学校では、生徒が授業ごとに教室を移動するので、リュックが軽いのは本当にありがたいです。

↑これは、数学の授業風景です。

この写真のように、先生がプロジェクターを使って話しているのを聞き、ノートをとるのが基本の授業スタイルです。先生によっては、One Noteでノートのテンプレートを作ってくれていて、そこに打ち込んでいくという授業もあります。授業で使われたパワーポイントやワードは先生がOne Noteで共有してくれるので、簡単に授業内容を振り返ることができて便利です。



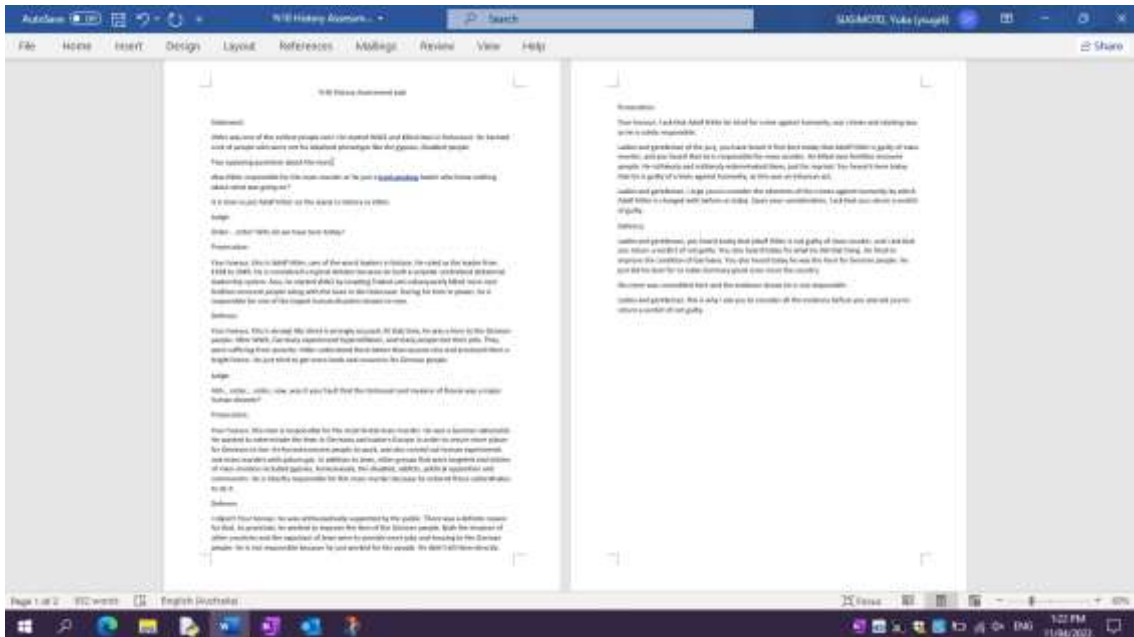
↑数学のOne Note

私が少し下の学年に入っているのもありますが、授業内容はどの科目もけっこう簡単です。小石川で一度やった内容だからこそ、英語だとか表現するのか、など少し違った観点から授業を受けています。

たいていは課題もなく、授業が終わったらおしまいです。Termの終わりが近づいてくると、テストがあったり、Assignmentという少し大きめの課題が出たりします。Assignmentとは何かというと、科目によりますが、少し短めの論文のようなものです。例えば、英語では、「Animal Farm」という物語を分析してエッセイを書きました。歴史では、第2次世界大戦に関わる人物(ヒトラーやトゥルーマンなど)を一人選んで裁判にかけ、その様子の台本を書きました。

ちなみに、私が一番面白いと思ったAssignmentは、Digital Technologyのものです。Pythonを使って、Snake Gameというゲームを作りなさいという課題でした。オーストラリアに来てからPythonを始めた私にはなかなか難易度の高い課題でしたが、先生の手伝い

もあり、なんとかゲーム部分を完成させることができました。日本ではこのような授業を受けることはできないので、留学している甲斐があったと思います。



↑ 歴史の assignment です。

このように、難しかったり、時間のかかるものが多い Assignment ですが、Term が始まる前の 2、3 週間は、授業がその作成にあてられ、先生も手伝ってくださるので、家で作業することはほとんどありませんでした。そのため、放課後は自分の好きなことに時間を使うことができ、あまりストレスを感じることもありませんでした！

このように、私の学校生活はとても充実しています！また何かイベントがあったら紹介したいと思います。

次回こそは、休日の過ごし方を紹介しますね！

お楽しみに！



See you next time!